

第6回倉敷市総合計画審議会 第2分科会議事録（要旨）

会 議 名 称	第6回 倉敷市総合計画審議会 第2分科会 (文化・産業)	
開 催 日 時	令和2年8月28日(金) 15:00～16:45	
開 催 場 所	倉敷市役所 議会棟3階第2会議室	
出席者 ※敬称略	審議会 委 員	井上 稔裕, 大賀 環子, 大島 康弘, 尾崎 聡, 永井 圭子, 中島 光浩
	市職員	企画経営室長, 総合計画策定研究班員ほか担当部署職員, 事務局
関係者	関係者	委託事業者
傍聴者	傍聴者	なし
欠席者 ※敬称略	審議会 委 員	後藤田 恵子
会 議 次 第	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 今後のスケジュールについて 3. 総合計画について 4. その他 5. 閉会 	

1. 開会

2. 今後のスケジュールについて (事務局説明)

3. 総合計画（協議） (事務局説明)

質疑応答

分科会長	先ほどの説明のとおり、今回、まちづくり指標も入っているので、まず、担当の第2分野についてご意見をいただきたい。何かないか。 では、まず64頁の2-8について。今さらだが、2-1から8までを通じて、めざすまちの姿に「観光」の文字が出てこないことに気づいた。文化観光都市でもあるし、「倉敷の魅力国内外にPRし」の後に、『観光客をはじめ』たくさんの人が～』などと入れるよう検討できないか。
市	ご意見はわかるが、この2-8では、観光だけでなく移住も取り上げている。観光にはもちろん重点を置いているが、近年の人口減少の中で倉敷市も移住に力を入れており、幅広い表現としている。
分科会長	状況はわかった。現状や課題、基本方針に「観光」が入っているので了解だ。
委員	前回、審議をした「いとへん」の文字が、22頁のめざす将来像のキャッチフレーズに全部入ったのでよい。同様に分科会の審議を反映して、24、25頁、2・3分野の「いとへん」の漢字を2つに増やされている。しかし、印刷された文字ベースでみると、なぜこの頁は2つあるのかと違和感があり、ブレた気もするし、市民が混乱するのではないかとも思う。やっぱり漢字は1つに絞ったほうがいいと思う。 58頁、2-5の現状4つ目に、前回申し上げた美観地区の町並みを守る「職人の減少」が入っているが、課題にはつながっていない。課題としては、地場産業のイメージやブランド力の向上、新たな地域資源の掘り起こしなど新しいものを産み出す内容ばかりが挙がっているが、もう少し技術の継承や古いものの復刻のようなニュアンスを入れることを検討してほしい。
市	2-5については、課題の文頭に「伝統」などのニュアンスを入れられないか担当部局と相談する。 漢字については、前回の皆さんの1つには絞りがたい、というご意見を受けて2つ並べるよう修正した部分だが、他の委員はどうか。
委員	前回の議論を知らない、一般の方が見たときどう思うのだろう。
委員	2つ並んでも、特に違和感はなかったが。
分科会長	1つだけの漢字では象徴しきれないので2つにしたということだ。第3分科会などでの意見はどうだったのか。
市	特にご意見はなかった。

分科会長	2つの漢字は補い合うような関係だと思う。
委員	皆さんが特に2つ並んで違和感ないならよい。
市	今後、デザインやレイアウトで違和感がないよう工夫したい。
委員	基本目標「文化・産業」の「文化」が「維（つな）ぐ」で、「産業」が「紡ぐ」につながっていると思うので、上下を逆にしてはどうか。
市	逆がいいか、並列がいいかなど検討する。
委員	では、62頁、2-7で6次産業の支援について前回から増えたのか。
市	前回もあったのだが、内容を整理して、段落を組み替えていく中で、現在の書き位置に収まった。
委員	わかった。また指標の「新規就農者数」の目標値の根拠は何か。
市	令和元年は15人だったが、過去5年平均で年12人程度になるため、この数をベースに5年で60人、10年で120人と考えている。
委員	県のデータではここ3年くらい新規就農者が多かったもので、逆にこのペースを今後保てるのかと思っている。また、就農には農地が必要だ。この人数が生計を保てる農地の手当てを考えると厳しいのでは。
市	県の普及指導センターは年22人という数を掲げているので、あまり離れすぎない方が良くとも思ったこともあって、今の数値だ。 全体的な指標の考え方として、目標を高めに掲げて上を見ていくのか、現実的な目線で行くのか、どちらなのか。
市	実際に、目標の出し方としては、今の説明のように過去5年という考えはわかりやすいのでよいと思う。
委員	県も農地造成などを行っていき、就農者増を目指すというのであれば、この数値で良いと思う。 また、SDGsについて、2-7に12番のアイコンも入れてほしい。12の「つくる責任・つかう責任」は6次産業化にもつながるので。
委員	51頁の2-1で、指標には「文化施設」があるが、これらには民間施設は入っているのか。 別の指標は「～を行っている人の割合」などとあるが、それぞれ何の数値を指しているかわかりにくいので、市民アンケートによるなど記載してほしい。例えば59頁、2-5には、「※経済センサス活動調査」など具体的に記載があるので。
市	第七次の計画の指標設定にあたり、アンケートばかりでなく、客観的に入れられる数値があれば入れようと各部局で検討してもらったが、どうしてもアンケートに頼らざるを得ない部分もある。
委員	51頁、2-1の指標で「文化施設」の具体はどこのことか。
市	「文化施設」は「市の市民会館、芸文館、文化センター」などで、ライフパークなどの生涯学習施設は含まない。
委員	24頁に第2分野に関連するSDGsのアイコンを示しているが、9や15など抜けているアイコンがあると思う。今後、各項目でも増やしていくという話だったので、あわせて整理してほしい。

委 員	59頁，2－5の市の施策にコロナウイルスを入れたという説明があったが，ではコロナ以前はどうだったのか。既に経済が落ち込んでいたのであれば，10年後まで使う計画に，コロナと入れるのはどうかと思う。今後，コロナが今のインフルエンザのような感じになるなど，今と状況は必ず変わるだろうから3年スパンの計画ならいいと思うが，この先10年という計画ではつきり書くのはどうかと思う。
委 員	言葉としては，新しい生活様式，3密を避けるなどと入れるほうがよいのではないか。
市	実は，コロナについての書き方は非常に悩んだ。岡山県が改定する計画でも悩んでいると聞いている。当初は，直接的に書くのはどうかと思っていたが，全部の項目にまたがって書くのも難しい。倉敷市では経済や観光への影響はしばらく続くと思われるので，今の書き方でまとめているが，再度検討したい。
市	分野によっても切実感が違い，第4分科会の保健・医療の分野ではコロナがホットワードで，10年スパンの計画なので書かないといけない，ということだった。おっしゃるとおり一番ダメージを受けているのが経済とか観光だが，入れ方については検討させてほしい。
分科会長	いろいろなご意見や今後の影響を踏まえ，再度検討してほしい。
委 員	先ほどの「観光」については説明を聞き納得した。 これまでの観光は，世界中や県外から大勢の観光客をという流れだったが，コロナを機に，考え直すよいきっかけとなっていて，これからは，地元，倉敷の人たちに倉敷の魅力をよく知ってもらうマイクロツーリズムなどのニュアンスがどこかに入ると良いと思う。 指標では市内の宿泊者数が100万人ぐらいと思ったより少ないのにびっくりした。また，移住については，一気に増える指標となっているが，特に増加につながる施策があるのか。
市	数値としては累計の指標になっている。 移住には市も力を入れていて，コロナの影響で今年は無理だが，逆に都市圏の人の目が地方に向いているとも言えるので，目標として，5年スパンで100世帯，年20世帯くらいの数値を設定している。
市	宿泊者数の数値については，観光コンベンションビューローに加盟している施設，つまり把握できる数値だったと思う。
委 員	民泊などは入っていない。だからといって数が大きく変わるものではなく，やはり倉敷は日帰り，通過点といったイメージになっていると思う。 ところで，移住の指標は下に累計表示があってわかりやすい。2－7の新規就農者数の指標も，同じようにすればわかりやすい。
委 員	それぞれの頁で，指標の根拠が簡潔にわかるとよい。
市	六次総合計画では，巻末に指標の算出方法などを示していた。同じ形になるかどうかわからないし，各頁に根拠を全部書くと，文字数が多くなりすぎる可能性もあるので，巻末か各頁かどうなるかはわからないが，よりよい方法を検討する。

委員	どこかに買い物難民について書いてあるか。近くのスーパーが閉まって買い物ができず、お年寄りが困っている。
市	そういう言葉は書いていない。倉敷市は、車移動が基本ではあるが、中山間地域に比べるとそのような状況はまだ遠いと考えていた。 今後の社会を考えると、近所に店がないといけないのか、ネット通販などで品が配達される方向なのか、まちづくりがどちらに向かうのかということもある。
市	分野は違うが、82頁の3-9、公共交通の項では「公共交通の沿線に暮らしを支える日常生活サービス施設や居住を誘導する」という方針を示している。
分科会長	62頁、2-7の基本方針は1-5が農業、6が漁業で書き分けているが、5の地産地消の農作物に水産物も書き加えられないか。
市	可能だ。修正する。
委員	64頁、2-8の観光の項で、漠然と「倉敷」と括っているが、観光でもいろいろなエリアがあるので、広がりを見せたほうがよい。周遊的なイメージも足してはどうか。
市	64頁の2つ目の項目にそういう趣旨をいれて、様々なエリアと書いている。ご意見のように倉敷の観光客の周遊性が高くないのが現状だが、高めていくことが必要なので、3つの日本遺産には8つの地域・地区がすべて入っているので取り組みを行っているところだ。
市	今の「様々なエリア」に個別の地区名を入れるなど検討する。
分科会長	では、冊子全体を通じてはどうか。
委員	実施計画が1年と書いてあるが、作るのも大変では。
市	前は、実施計画＝創生戦略と考えていたが、実際には今の六次でも1年ごとに実施計画をローリングで作成しており、そのイメージだ。
委員	2-5の職人について。今、マイスター制度など、若い人にプライドをもってものづくりをしてもらう取組をしている。繊維など職人の分野を具体的に書いてほしい。
委員	前回話をした、建築や左官屋さんなども含めているとのことだ。
委員	この項だけでなく、書きぶりが全体的に漠然としているところも何か所かある。代表的な産業はきちんと書いた方がよいのでは。
市	職人については、担当部局として繊維を想定してはいるが、これまで市ができてない工芸品などの支援も行っていきたいと考えている。
委員	いろいろな分野で、幅広くどんどん技術のある職人がいなくなっていることが問題だ。今の職人でよいのではないか。
委員	何かいい表現があれば検討してほしい。 分野の漢字は「紡」「維」だが、計画全体で繊維を感じさせる言葉があまりない。一大産業をイメージさせる表現がもっとあればよい。
委員	他分野だが、1-2のめざすまちの姿が「人の痛みを～」とある

	が、逆に「思いやりの心を育てる」などがいいと思うが。
市	六次総合計画の策定時に大勢の市民の方のご意見で決めた内容なので尊重してそのまま使っている。
分科会長	12頁の年表に下津井城についても入れてほしい。
委員	7頁のくすのきは市内のものか。
市	これは仮の写真で、冊子の中ではできるだけ市内の写真を使っていきたいと考えている。
分科会長	他にご意見はないか。 ないようなら第2分科会は、これで基本構想・基本計画の審議を終了とする。本日の意見はまとめて計画素案に反映し、後日報告してもらいたい。
分科会長	他に気づかれたこと等があれば、書面等でお知らせ頂きたい。

4. その他

次回の日程について

5. 閉会